

# 平成26年度 大森小学校森林環境学習実績報告書

須賀川市立大森小学校

## 1 総合的な学習の時間

### (1) ブナ林探索活動

11月7日(金) 5年生11名が担任及び養護教諭の引率により、須賀川市立白方小学校5年生と合同で旧岩瀬村にある国有林(ブナ林)の探索活動を行った。発芽した苗から樹齢300年を超える大木まで生息しており、ブナの生態系を観察することができた。児童は、本校の周りにある林との違いに気付くとともに、案内人の講師の方々の説明からブナ林の持つ役割を理解することができた。さらに、ブナ林に生息する貴重な動植物についても理解を深め、森林環境学習への興味・関心が高まった。



ブナ林案内人



動物の痕跡



樹木の種類について



学習のまとめ



## (2) 初瀬川の水質検査

本校5年生は、総合的な学習の時間を活用して、本校の近くを流れる初瀬川の水質調査を継続的に行っている。源流に近づくほど水質はきれいになり、森林のもつ役割と川の水質との関係を考えることができた。



指標生物の調査



指標生物の採集



川の汚れと生物の関係についての発表



川を汚す原因についての発表



## (3) 栽培活動

### ① 農園活動

地域住民の協力で学校農園用の畑を提供していただき、各学年毎に年間を通して野菜を栽培し、成長過程を観察するとともに、収穫の喜びを感じ取らせた。活動には、学習ボランティアとして多くの祖父母の協力を得ることができ、児童との交流を深めることができた。



農園活動（低学年のサツマイモ）

## 2 学校行事

### (1) 緑の活動

種から発芽させ、学年花壇・プランターでの栽培活に取り組んでいる。自分たちの学校を緑豊かな学校にしようと、四季折々の植物の変化を楽しみながら、自然と触れ合い、自然に親しむ心情を培うことができた。



中庭のプランターを囲んでの全校生集合写真

### (2) ボランティア活動

本年度から始まった行事、「ボランティア活動」は、地元の長寿会の皆さんと合同行事で、旧校舎の校庭（公園となっている）の花壇への花苗植えを行った。



長寿会の皆さんとの花苗植え

## (2) 愛校活動 (ぎんなん)

10月～11月にかけて旧校舎わきにある、校章のもとにもなっている銀杏の木になる「ぎんなん」を全校生で拾う活動を伝統的に行ってきた。平成22年に起こった福島原発事故の影響によって活動は中止していたが、一昨年度から「ぎんなん」に含まれる放射性物質が不検出となったため、活動を再開している。



ぎんなん拾い…くさいです。



計量して、袋に詰めて販売 (卒業式の鉢花に)

## (3) 宿泊学習

7月、5・6年生は、那須甲子少年自然の家での宿泊学習で、溪流下りを行った。案内人による説明で、様々な種類の樹木や森林に生息する動物について学んだ。夜は、キャンプファイヤーを行った。自分たちで薪を積み上げる方法を学んだ。



溪流下りで森林について学ぶ



キャンプファイヤー

## 4 緑の少年団

### (1) 結団式

本校では、全校生で緑の少年団の活動に取り組んでいる。花壇や農園の整備が中心であるが、豊かな自然に囲まれた環境を生かして、散策活動なども行ってきた。今年も、結団式が行われた。





「緑の提言」を読み上げる団長



全校生が緑の少年団

## (2) 羽山祭りへの参加

今年、本校学区である羽山の山開きに7名の団員が参加し、頂上で登山客に「緑の提言」を発表し、花のポップリを配って、自然を大切にすることを啓蒙した。



山伏も登場，羽山登山



途中で清水を発見，冷たくておいしい



「緑の提言」の発表



ポップリを配る

## 5 その他

### (1) P T A親子木の実工作教室

6月、P T A教養委員会が主催して、親子木の実工作教室が開催された。大森小学校にゆかりの退職された校長先生を講師に招いて、グルーガンや木工用ボンドなどを使って、かわいい作品を作り上げた。



グルーガンの使い方を教えていただく



先生の作品はすてきですね

### (2) 樹木オリエンテーリング

森林環境交付金で購入した超大型テプラやプレートを使って、校地内にある樹木を探る「樹木オリエンテーリング」を作った。寒くなってしまったので、子どもたちが体験するのは春になってからだが、樹木の図鑑等も購入できたので、それらを活用しながら楽しく活動に取り組むことで、森林環境への関心を高めたい。



「樹木オリエンテーリング」カード



樹木図鑑等

